

敬愛大学総合地域研究所 シンポジウム2018

AIとロボットが作る未来社会と人材育成

～社会はどう変わり、何が課題か。大学の教育研究はどうあるべきか～

AI(人工知能)による社会の大きな変化が予想される中、世界初のAI搭載サッカーロボットを開発した古田貴之氏は、「技術は心、社会、人に向くべき」「アクティブシニアが経済・文化活動の主役になるためのロボットを開発する」と語っています。ロボット開発の第一人者をお招きし、千葉の経済界、教育界、行政、地域の皆様とともに、未来社会への課題を考えたいと思います。どうぞご参加ください。

平成30年 **12月8日** 土 13:30～16:30

敬愛大学3号館3階3301教室

【定員】100名 **参加費無料**



小型ヒューマノイド実験ロボットmorph3 (注1)



搭乗型AIロボットCanguRo (注2)

13:30～14:20 基調講演 **「ロボット技術と未来社会」**

古田貴之 千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター所長

14:20～14:40 報告 1 **「AIとは何かー得意なこと、苦手なこと」**

高橋和子 敬愛大学国際学部教授(情報概論、アルゴリズム論ほか)

14:40～15:00 報告 2 **「AI社会の課題ーベーシックインカムと社会保障」**

星 真実 敬愛大学経済学部教授(社会政策、社会保障論ほか)

15:00～15:10 休憩

15:10～16:30 パネルディスカッション **「未来社会および人材育成の課題」**

パネリスト:古田貴之 (千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター所長)

高橋和子 (敬愛大学国際学部教授)

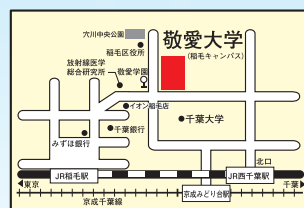
星 真実 (敬愛大学経済学部教授)

コーディネーター:藪内正樹 (敬愛大学総合地域研究所所長)

●シンポジウム終了後、意見交換会を開催します



■お問い合わせ先 総合地域研究所(大学運営室)
TEL:043-251-6363(代表)
FAX:043-251-6407



(注1) morph3は、科学技術振興機構ERATO北野共生システムプロジェクトとして、工業デザイナーの山中俊治氏と共同開発したロボットです。2003年6月1日よりmorph3の研究開発チームが千葉工業大学未来ロボット技術研究センター(fuRo)へ移籍し、継続して研究開発中です。
(注2) CanguRoは、fuRoが2018年7月に発表した、人に寄り添うパートナーロボット。乗り物に変形すると体幹移動に合わせてスラロームします。

シンポジウム2018申込書

FAXにてお申込みください

FAX.043-251-6407

申込締切……平成30年11月26日(月)

※定員になり次第締め切らせていただきます。

フリガナ 氏名 (代表者)		参加人数	名
---------------------	--	------	---

シンポジウムを どのように 知りましたか	<input type="checkbox"/> 新聞(らし(新聞)	<input type="checkbox"/> ホームページ
	<input type="checkbox"/> ポスター(掲示場所)	<input type="checkbox"/> 職場(名称)
	<input type="checkbox"/> その他()

※敬愛大学からのシンポジウム、セミナー等の案内を希望される方は住所またはメールアドレスをご記入ください

住所 または メールアドレス	〒 _____ _____ _____ @ _____
----------------------	-----------------------------------

※上記の個人情報は本学シンポジウム・セミナーのご案内以外に使用いたしません。

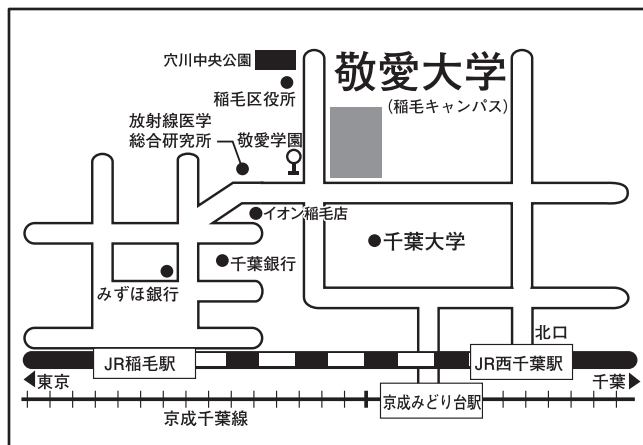
■意見交換会 (軽食をご用意いたします)

- ・時間: 16:45~17:45
- ・会場: 2号館1F(当日ご案内いたします)

下記を○で囲んで下さい

意見交換会に

参加する ・ 参加しない



JR稲毛駅より徒歩15分・西千葉より徒歩20分
京成みどり台駅より徒歩20分